

2025. 7. 11

北九州市教職員組合にゅうす



子どもたちの心に響く「平和学習」にとりくもう 地域の戦争を題材にした平和教育実践学習会、開催される①

6月28日(土)、北九州教育会館において「子どもたちの心に響く平和学習にとりくもう～地域の戦争を題材にして～」をテーマに平和教育実践学習会が開催されました。東執行委員長の挨拶に始まり、今回の学習会の「目玉」である平和教育分科会作成の平和紙芝居「ぼく、もっと生きたかった」が紹介されました。この紙芝居は、1944年6月16日に日本で初めてB-29による爆撃がこの北九州で起き、その爆撃により小倉北区の三郎丸小学校で起きた悲劇をもとに作成されました。この紙芝居をつくることになった経緯やこの紙芝居を使った学習指導案も提案され、地域の平和教材としてだれもが実践できる平和紙芝居となりました。さらにこれまでに平和教育分科会が取り組み、創り上げてきた平和教材の紹介も行い、今回の平和実践学習会に深まりと広がりを与えてくれました。



感想の交流の時間には、多くの参加者の平和教育への思いのこもった様々な感想や意見が交流されました。「ぼく、もっと生きたかった」は、低、中学年向けを想定して作成されましたが、「もっと広い年齢層でも活用できるのではないか。」というような意見や「友達の死という内容が、子ども達にとってより身近な現実として感じることができる。」「やはり平和学習は、一朝一夕では難しく、積み重ねが大切である。」「若い方にもっと広める場を作らなければならない。」などとても濃密な学びの時間となりました。

参加者からの感想です。

○すばらしい紙芝居ありがとうございます。交流の中で現状やってみたこと教材の紹介等、生の声で交流できてとてもよかったです。

○低学年から学びやすいとていい教材をたくさん紹介していただき有意義な時間を過ごせました。改めて自分自身も平和について子ども達と一緒に学びたいと思います。ありがとうございました。

○平和部会のご苦勞が実りましたね。本当にお疲れ様でした。すばらしい教材ができましたね。皆様の感想が出て交流できてよかったです。



○戦争の怖さ、あたり前にある日常の幸せ、まわりにいる人を大切にしなければいけないという気持ちを深く考えさせられる、紙芝居だったと思います。子どもにも分かりやすく自分ごととしてしっかり考えることが出来る教材だと思います。私自身もクラスの子供達にしっかり戦争の怖さや今の幸せに感謝することを伝えていきたいと思います。本日はありがとうございました。



○まず今回この機会を得ることができたことに感謝しています。三郎丸小の被弾のことは、全く知らなかったので戦争を体験していない自分が戦争のことを語るのに貴重な事実を知ることができました。紙芝居の冒頭が生まれつき足の不自由な子を取りまく子たちの話からのスタートだったので少し驚きました。指導案の説明で、「その理由が理解できました。自分も先輩の先生方からいろいろなことを教えていただきました。今は、自分が若い人たちに伝えていかなければならないという思いも強く感じました。本日は本当にありがとうございました。」

わからないこと・困ったことがあったら… 何でも気軽にお問い合わせください！

///JTU 北九州市教職員組合 〒802-0072 小倉北区東篠崎3丁目4-1

E-mail:jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp

北九州教育会館 TEL (093) 953-0381

